

NPO法人 介護・福祉サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



● 2024年介護保険制度改定に向けた要請行動の報告

介護・福祉ネットワークみやぎでは、関係団体と共に2017年から「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム」実行委員会（以下、みやぎ県民フォーラム）を立ち上げ、誰もが安心して利用できる介護保険を実現するためにフォーラム開催や要請行動を続けてきました。

介護保険制度はこの間の制度改定の中で、利用者負担増や介護職の不足という問題を抱えています。その中で新型コロナウイルス感染症拡大、物価・光熱費高騰などの波が押し寄せ、現状でも、「お金がなくて使えない」「必要なサービスが不足している」「介護人材不足」など、保険あって介護なしが懸念される困難に直面しています。

国では2024年改定に向けて、2022年末に介護保険制度の見直しに関する意見を取りまとめました。しかし、見直しには利用者負担増、給付削減につながる内容が数多く検討課題として示され、給付と負担に関する項目の多くの結論が2023年末まで持ち越しとなる異例の事態となっています。

みやぎ県民フォーラムでは高齢者の生活と権利、事業者・働き手を守り、さらなる改悪を止めるために、国や宮城県・35市町村に要望書を提出後、宮城県・仙台市担当部局との懇談や宮城県議会議員との意見交換の開催などを通し、地方自治体から国へ声を上げていただくよう粘り強く要請行動に取り組んできました。

その後、宮城県議会において2023年7月4日付けで国に対し、介護保険制度の見直しに関する意見書が提出されました。（下記「意見書」項目の詳細、宮城県HPより転載）

介護保険制度の見直しに関する意見書

- 1 軽度者への生活援助サービス、ケアマネジメントに関する給付の在り方及び多床室の室料負担については、安心して介護を受けられる体制を維持・確保すること。
- 2 保険料や利用者負担の見直しについて、低所得者に配慮するとともに、負担能力に関し高齢者の生活実態や生活への影響等を把握した上で検討すること。
- 3 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類への移行となったが、依然として重症化リスクが高い高齢者の命を守るための対応強化を図ること。
- 4 介護人材の確保は喫緊の課題であり、他産業との賃金差等を踏まえ、更なる処遇改善、人材育成への支援・職場環境の改善による離職防止等の総合的な介護人材確保対策を講ずること。
- 5 物価高騰による影響を踏まえ、介護サービス事業所・施設等の負担軽減を図るための支援を講ずること。

右、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

宮城県議会議員 菊地 恵一

令和5年7月4日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 あて

～*～ みんなで考えよう介護保険！◆みやぎ県民フォーラム2023◆開催のお知らせ ～*～

日 時：2023年12月16日（土）13：30～16：30

会 場：フォレスト仙台2F 第5・6会議室（ハイブリット形式）

参加費無料

■第一部：講演・講師 小竹 雅子さん（市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰）

史上最悪の介護保険改定“保険あって介護なしにさせない”ための運動を進めていく上で現場からの声をすくい上げてきた市民の立場からご講演いただきます。

■第二部：利用者・家族、施設関係者、事業者からの報告等（予定）

主 催 / みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2023実行委員会



● 2023年度福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員情報交流会開催報告

7月13日(木)13時から14時まで、フォレスト仙台4階4A会議室において、苦情解決の第三者委員5人と共同委嘱事業者14団体から9人、事務局4人の参加で開催しました。

はじめに、第三者委員5人を紹介し、新任の佐々木真知子さんからご挨拶をいただき、内館昭子理事長が共同委嘱14団体を代表して第三者委員各位に委嘱状を交付しました。

次に、渡辺淳子事務局長が「福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱に関する要綱の設置目的」と「第三者委員の相談の流れ」について説明しました。

続いて、各共同委嘱事業者から2022年度の苦情・相談について報告していただきました。それを受けて各第三者委員から「利用者の身体状態や性格、家族の考え方などの違いがある中で職員の方々は、苦情に対して細やかに対応していると感じた。利用者の立場になって考えると、利用者は介護サービス事業所と契約し対価を払い、専門家に頼んでいると期待している。息子さんからの申し出が多い感じがするが、息子さんの母への思いが強いのだろうと思う。職員は、利用者にとって何が一番いいのか考えること、提供するサービスのスキルアップを図ること、相手の立場を考えること、情報共有することなどが大事である。」と感想や助言などがありました。

また、介護施設入所の利用者が怪我した場合、事故が発生した場合、離床する際にベッドから落下した場合等について事前に予見し対策を取るべきだったと施設側の責任を問われた事例等について紹介いただきました。今後の介護事業所の運営において役立つ有意義な情報交流会になりました。

＜福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員＞（敬称略）

- 阿部 徹（民生委員・児童委員）
- 佐々木 真知子（消費生活専門相談員）【新任】
- 鈴木 牧 夫（玉川大学名誉教授）
- 内藤 千香子（弁護士）
- 渡辺 礼子（地域福祉推進員）



各共同委嘱団体からの報告



新任の佐々木真知子さん ご挨拶

● 2023年度第2回実務担当者会議報告

7月13日(木)16時30分から17時まで、フォレスト仙台4階4A会議室において、16人の出席で開催しました。

はじめに、より良い介護保険制度を目指し「2024年度介護保険法改定に向けた介護保険制度の改善をするための国への働きかけ」に関する宮城県議会との意見交換会について報告を行いました。協議事項では、2023年度実務担当者会議・研修会の企画内容について協議しました。

● 2023年度第1回福祉サービス第三者評価事業推進検討委員会報告

7月26日(水)14時から16時まで、フォレスト仙台5階当法人事務所において、7人の参加で開催しました。委員会は、福祉サービス第三者評価事業の適正な推進を図ることを目的とし設置されています。

はじめに、当法人の2022年度福祉サービス第三者評価事業の実績及び2023年度の評価事業の見通しについて報告後、福祉サービス第三者評価受審手数料見直しの報告と受審推進に向けて意見交換を行いました。最後に2023年度評価事業普及協議会（全国社会福祉協議会主催）の開催内容について情報提供をしました。介護・福祉ネットみやぎの事業推進に向けた有意義な会議となりました。

● 2023年度第2回実務担当者会議・拡大研修会報告

7月13日(木)14時15分から16時20分まで、フォレスト仙台4階4A会議室において公益社団法人全国消費生活相談員協会東北支部長の佐々木真知子さんを講師に『高齢者の消費者被害とトラブル防止について』をテーマにハイブリット形式で開催し、実務担当者・介護従事者・調査員等46人が参加しました。

悪質商法による消費者被害・トラブルの総額は21年度で約5兆円にのぼります。中でも高齢者を狙った詐欺的な手口による商法の被害を訴えるケースが年々増加し、全消費者相談の3割近くを高齢者が占めると言われています。また、悪質商法の手口も年々巧妙になり、だれがいつ被害にあってもおかしくない状況にあり、特に高齢者の消費者被害を防ぐ対策が急がれます。

研修では、高齢者の消費者被害状況や消費者トラブルの種類や特徴、家族や介護現場における見守りポイントや声かけ方法についてご教示いただきました。

はじめに、高齢者の消費者トラブルの特徴に関する解説では『高齢者の消費者トラブルの特徴として「健康」「お金」「孤独」といった不安を抱えていることが多いことに加え、被害に遇っているという認識が低く、トラブルに遇っても周囲のだれにも伝えられないなど被害が潜在化しやすいことも被害が拡大する要因のひとつでもある。悪質業者はこのような高齢者の心理や生活環境につけこみ、巧みに勧誘してくることが想定される。また、コロナ禍により高齢者の在宅率が高くなることで、在宅時の突然の訪問勧誘や電話勧誘に関連したトラブルが多くなった。高齢者の消費者被害・トラブルは騙される金額が高額で高齢者の消費者被害は依然として深刻である。高齢者の消費者トラブルに気づくためには、だましの手口を知るとともに、高齢者の心理を理解しておくことも大切である。国民生活センターでは高齢者とそのまわりの方に気を付けてほしい消費者トラブル最新10選を公表したので参考にしてほしい。』と話されました。

次に、介護現場の見守りのポイントとして、見慣れない人が度々出入りしている、新しい商品が増える、電話におびえる、お金に困っている、不審な契約書や請求書があるなど高齢者の身の回りの変化に気がつけることが必要であり、そのためには日頃からコミュニケーションを図ることが大変重要であると解説いただきました。

これからの事業運営に役立つ情報交流会となりました。



講師の
公益社団法人全国消費生活相談員協会
東北支部長の佐々木真知子さん



研修の様子

★国民生活センターでは、高齢者と高齢者を見守る方々に向けて、今、特に気を付けてほしい消費者トラブルをまとめました。(2023.9月発表)

高齢者とそのまわりの方に気を付けてほしい消費者トラブル 最新10選

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 屋根や外壁、水回りなどの“住宅修理” | 6. パソコンの“サポート詐欺” |
| 2. 保険金で住宅修理できると勧誘する“保険金の申請サポート” | 7. “架空請求”、“偽メール・偽SMS” |
| 3. “インターネットや電話、電力・ガスの契約切替” | 8. 在宅時の突然の“訪問勧誘、電話勧誘” |
| 4. “スマホ”のトラブル | 9. “不安をあおる、同情や好意につけこむ勧誘” |
| 5. 健康食品や化粧品、医薬品などの“定期購入” | 10. 便利でも注意“インターネット通販” |

● 2023年度第1回地域密着型サービス外部評価審査委員会報告

7月27日(木)13時30分から15時まで、フォレスト仙台5階当法人事務所において、審査委員4人と事務局4人を含む8人の出席で開催しました。

はじめに、内館昭子委員長が開会の挨拶を行い、次に、2022年度外部評価事業、調査員研修、利用者家族等アンケート集計結果(当法人作成)、2023年度事業計画などについて報告しました。

引き続き、田村孝夫評価委員が「2022年度外部評価結果(表紙)分析から学ぶ」と題して、介護・福祉ネットみやぎが行った全43事業所の外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点についての分析結果について報告しました。会議では、外部評価機関による外部評価推進の取組みや虐待を発見した場合の対応について検討しました。委員から「管理者が替わっている場合があるので、外部評価の案内をしたらメリットなどについて説明会(リモートなど)を行うと良いのではないか。」「虐待を発見した場合や疑われる場合は原則的に市町村に通報すること。虐待とみなされたら県のHPに掲載される。」「外部評価調査員としては事業者と利用者の中立性を考えて調査を行ってほしい。調査時に職員とのヒアリング等を通して虐待について話があった場合は、適切なところに繋げてほしい。」等の意見や助言、情報提供をいただき、今後の外部評価事業運営に役立つ有意義な会議となりました。

<地域密着型サービス外部評価審査委員>(敬称略)

内 館 昭 子(NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長)【委員長】

内 海 裕(NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会会長)

小 湊 純 一(一般社団法人宮城県社会福祉士会副会長)

千 葉 由 美(公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部 会報編集長)

● 2023年度第1回地域密着型サービス外部評価 調査員研修報告

8月4日(金)13時から16時まで、フォレスト仙台4階4A会議室において、会場とオンライン併用による研修会を外部評価委員・調査員44人の参加で開催しました。

はじめに、入間田範子副理事長から介護保険の基礎知識、2024年度介護保険制度改定への『生協の政策提言』等について説明いただき、改定内容の問題点などについて学びました。

次に、2023年度外部評価調査開始時マニュアルなどについて確認し、入間田範子当法人副理事長・外部評価委員長が宮城県実施の2022年度外部評価実施後アンケート結果や当法人がまとめた利用者家族等アンケート集計結果、外部評価を行うにあたっての留意点などについて説明し、調査員間で意思統一を図りました。

最後に、田村孝夫評価委員が2022年度介護・福祉ネットみやぎが行った全43事業所の外部評価結果(事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点)(外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点)の分析結果について報告しました。今後の外部評価活動に臨む際の参考になり、調査員の資質向上につながる研修でした。



田村孝夫評価委員からの報告

介護・福祉ネットみやぎ参加団体

宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・公益財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぶ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・宮城県民主医療機関連合会・宮城民医連事業協同組合・企業組合労協センター事業団南東北事業本部・宮城県労働者福祉協議会・株式会社全労済ウィック・合同会社ワイズ

NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ

事務局 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階 TEL 022-276-5202・FAX 022-276-5205

<https://www.kaigonet-miyagi.jp/> E-mail: sn.mkaigonet2@todock.coop